

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年2月28日

事業所名 AIAI PLUS 八千代台駅西口

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7				
	2 職員の配置数は適切である	5	2		・基準人員＋加算人員を配置している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5		2	・2段だが低い階段がある。 ・事業所内は適切だが、ビルの入口に階段がある。	現在車いすご利用の方の受け入れは行っておりませんが、車いすでの対応が必要な場合は手段を検討していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			・職員同士での意見交換が行われている。 ・今まで以上に行っていたい。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			・利用者アンケート調査を実施、見直しをしている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			・昨年の結果が発表されている。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6		1	・社内監査、品質検査にて評価・是正をしている。	
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			1 ・外部の研修を受けることもある。 ・個々で行っている。		
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			・個別支援計画作成時や中間評価時期に行っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		2		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7			・経過記録を丁寧にとることで共有し、支援内容につなげている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		1	・子どもたちが楽しんで取り組めるような工夫を心掛けている。 ・運動プログラムは、基本(固定)のものがあるため、それをベースに行っています。また、保護者のニーズがあった際には、縄跳びなどのメニューも取り入れている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		1	2 ・課題を平日や休日などで分けてはいない。 ・お子様の課題に合わせて支援を行っていく。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7				
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			3 ・打合せ事項があれば行っている。 ・職員間で共有ノートをつくり、日々の経過記録も記入し、全員で見っていますが必ずしも毎日打合せをしているわけではなく、気になった点やお子様の様子、情報などをその日に話し合うことはあります。		
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			3 ・気になることや共通事項があれば行っている。 ・経過記録で共有。		

関係機関や保護者との連携	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			・その日の支援内容や子どもの様子等、記録に残している。 ・経過記録で共有。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1	1		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					・受け入れなし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4		3		・保育所等訪問を行い、情報共有を図っています。 ・訪問支援のあるお子さんは共有ができています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5		1	1	・対象児がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		1		・「すくすくルーム」に見学に行った。 ・発達センターの担当者と打ち合わせや、定期的なや八千代地区で空き枠等の提示をしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5		3	4	
保護者への説明責任等	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		1	1	・放デイ協議会に参加している。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7				・支援後にはフィードバックを行っている。
	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		2		・必要に応じて助言している。 ・個別で事業所内相談支援加算や家庭連携加算に同意を頂き、個別支援計画に基づいて必要な支援や助言を行っています。
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7				・必要に応じて助言している。 ・個別で事業所内相談支援加算や家庭連携加算に同意を頂き、個別支援計画に基づいて必要な支援や助言を行っています。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7		4	3	・父母会、保護者会はありません。 ・時期を見て、PLUSフォーラムを開催していく。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				・苦情があった場合の体制を整えている。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7				・PLUS通信やLINEでご連絡している。
	34	個人情報に十分注意している	7				
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		1		
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1		2	4	
	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7				
	38						

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		・年間2回以上の総合避難訓練を行っている。(地震・火災・水害に備えた避難)	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			・本社に虐待防止委員会を設置し、施設長・職員が虐待を防止できるよう研修を受けている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			・個別支援計画にも盛り込んでいる。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	1	・食事の提供なし。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			・毎月、1件以上はヒヤリハット報告書を出し共有をしている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。